

各位

株式会社JMC

(証券コード:5704)

2023年12月期 第1四半期決算

売上高は前年同四半期比24.7%増の820百万円、営業利益は116百万円

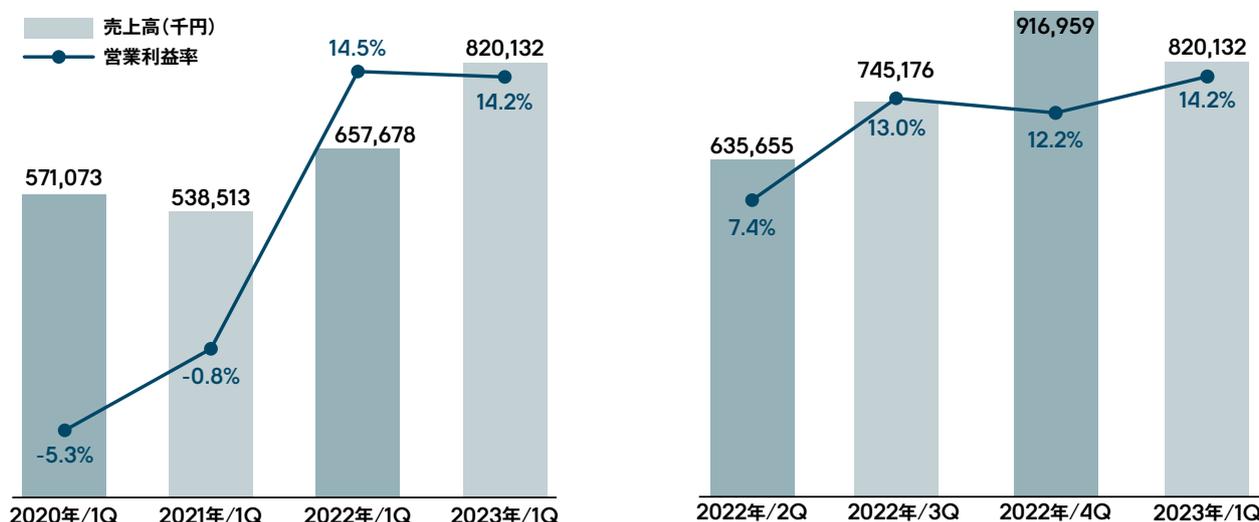
～ 通期業績予想達成に向けて、概ね堅調な受注環境が継続 ～

2023年12月期第1四半期（2023年1月～3月）の業績は、売上高820百万円（前年同四半期期比24.7%増）、営業利益116百万円（前年同四半期比22.6%増）、四半期純利益66百万円（前年同四半期比19.3%減となりました）。

当社主力の鋳造事業においては、FA（ファクトリーオートメーション）分野の量産用鋳造部品、EV（電気自動車）搭載用部品の試作用鋳造部品受注が業績を牽引しました。また、3Dプリンター事業（※）においては、大口案件の納品に加え、自動車部品のグローバルな調達基準である品質国際規格「IATF 16949」準拠の生産・品質保証体制の整備を進め、自動車内装樹脂部品の量産品製造を開始しました。

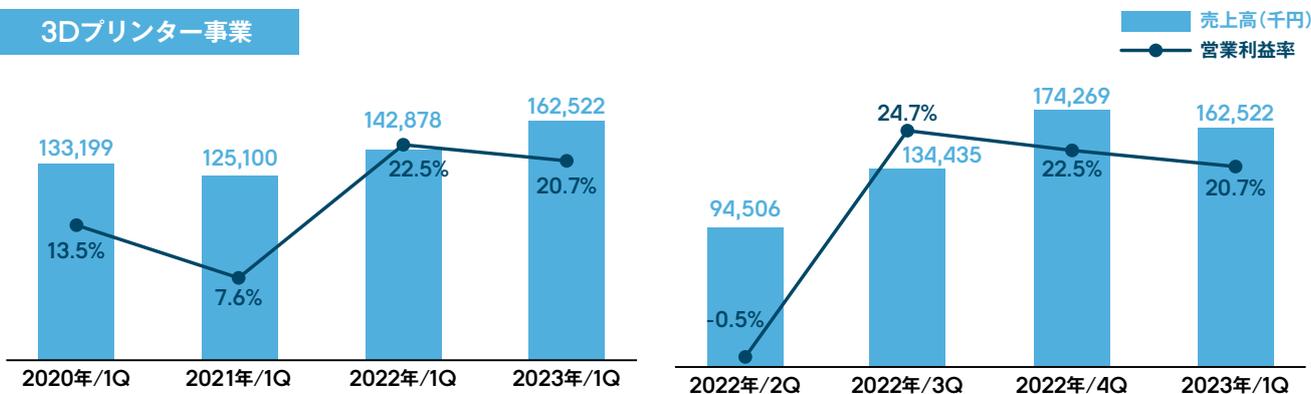
なお、伊豆木産業用地（長野県飯田市）に建設中の、量産用鋳造部品・大型鋳造部品を生産する国内最大規模の非鉄砂型鋳造工場「コンセプトセンター第8期棟」は、各種製造設備の搬入を開始し、2023年下期の稼働開始に向けて、調整・試運転を進めております。

業績ハイライト



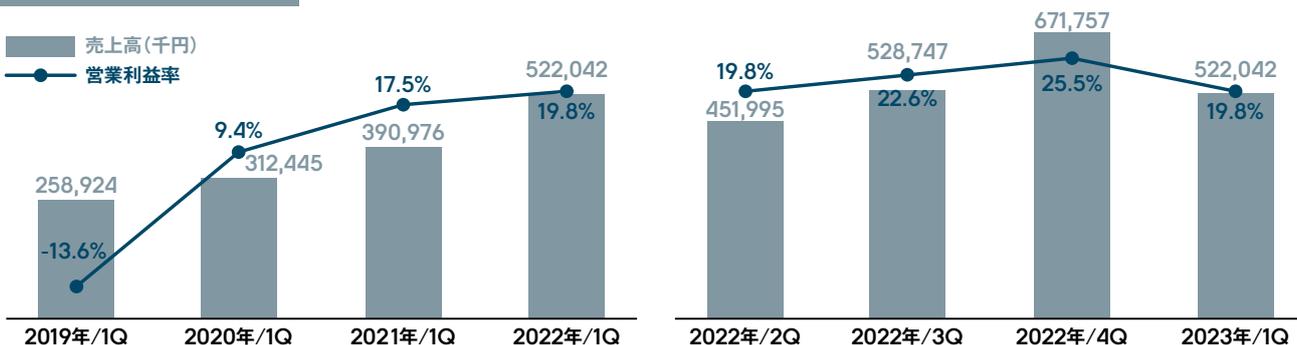
セグメント別業績

3Dプリンター事業



- 受注環境の回復と社内販売体制の整備により、案件受注獲得が順調に推移
- HEARTROID(ハートロイド)は販促活動に集中的に取り組んだものの売上高は前年並み

鋳造事業



- FA分野の量産用鋳造部品と、自動車分野でのEV搭載用試作鋳造部品の旺盛な受注が継続
- ミーリングセンター(静岡県浜松市)では高難易度の試作品の加工が増加
- 「ノスタルジック2デイズ」に出展し日産L28型エンジンシリンダーヘッドを追加受注(レストア)

CT事業



- 野生絶滅種指定の「クニマス」の体内構造調査を契機に山梨県へのクニマス模型寄贈プロジェクトに関与
- 全数検査、選別のレポート案件獲得により、高い利益率を確保
- 人員配置、装置稼働体制において効率的な事業運営を追求したことで利益率の向上に寄与

今後の見通し

2023年12月期第1四半期の業績は、概ね想定通りに推移いたしましたが、ロシアとウクライナの戦争状態による原材料・エネルギー価格高騰や、世界的な金融引き締め政策などによる懸念材料が見込まれ、予断を許さない状況が継続しております。

当社では、経営理念「MADE BY JMC」に基づき、ものづくりとサービス領域の拡大を通じて当事業年度の業績予想の達成に向けて事業活動を進めてまいります。

なお、決算関連資料等につきましては、当社ホームページ(<https://www.jmc-rp.co.jp/>) よりご覧ください。

(※) 従来「3Dプリンター出力事業」としていた名称を「3Dプリンター事業」に変更しております。

問い合わせ先

株式会社JMC

経営企画室

TEL: 045-477-5751 E-MAIL: ir@jmc-rp.co.jp

(注意事項)

本資料は、当社の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、いかなる情報も、当社が発行する株式の購入や売却を勧誘するものではなく、またこれらに関する投資アドバイスの目的で作成されたものではありません。

本資料に掲載されている情報には、当社に関する将来予測や業績予測が記載されていますが、これらは潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。業績結果が経営環境の変化などによって、見通しと異なったものになる可能性があることをご承知おきください。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましては、その責を負いかねますのでご了承ください。